

グループ会社

中学生の職場体験の支援(マツダエース(株)) 環境 人材 地域

目的: 職場体験の受け入れを通じて、次世代を担う人材の勤労観、職業観の育成を支援する。

取り組み: 情報技術サービス、建設・不動産、保険、物品販売などさまざまな業務を行うマツダエースでは、2008年より広島県内の中学生・高校生を対象に職場体験を受け入れています。

2016年度実績

5月、7月に中学生、高校生、計5名を対象に保険サービス部や本社売店などで職場体験を実施。働く上での心構えや挨拶、話を聞くことの重要性などについてアドバイスし、事務、ドリンク類の運搬・陳列などの体験を提供。その他、留学生への奨学金支援、インターンシップ受け入れ、「美祢市認知症等高齢者徘徊・見守りSOSネットワーク」協定の締結(マツダ(株)、(株)マツダE&Tとの連名(P16参照))、支援型自動販売機の設置による広島交響楽団およびサンフレッチェ広島への寄付、街頭募金活動、地域イベントへの参加および寄付、献血、ペットボトルキャップの収集、清掃ボランティアなどを実施。

a 中学生の職場体験



小中学生の社会見学(マツダロジスティクス(株)) 環境 安全 人材 地域

目的: 港湾物流の見学を通じて、海事への関心と理解を深めてもらう。

取り組み: 自動車および部品輸送を行うマツダロジスティクスでは、広島県内の小中学生などを対象に、港湾物流および施設の社会見学会を2010年より開催しています。

2016年度実績

小学生を対象とした港湾施設見学会の実施(74名参加)^{※1}。大型設備(ガントリークレーンなど)を使ったコンテナターミナルの効率的な荷役作業や自動車専用船の自走荷役作業などの実演を近くで行いながら、港湾物流の魅力的な技術と役割を説明。

その他、中学生を対象とした職場体験と講義(49名参加)、地域イベントなどへの参加および寄付^{※2}、熊本地震の被災地への物資提供(P10、15参照)、広島市就労支援センター^{※3}や留学生の支援、交通安全啓発^{※4}、献血、駐車場解放、竹林整備^{※5}や清掃ボランティアなどを実施。

b 小学生対象港湾施設見学会



パソコンの寄贈((株)マツダE&T) 環境 人材 地域

目的: 障がい者の自立を支援する。

取り組み: 福祉車両を含む特装車の製造と開発を行うマツダE&Tでは、「福祉」をキーワードに障がい者の自立支援を積極的に推進しています。その一環として、社内で使わなくなったパソコンを寄贈しており、寄贈先では人材育成、社会への復職のイメージづくりなどに活用いただいています。

2016年度実績

広島市などの社会福祉協議会を通じて、5団体へ5台のパソコンを寄贈(2011年から継続実施、累計58台寄贈)。その他、インターンシップ受け入れ(32名、マツダ(株)連携含む(P6参照))、第14回学生フォーミュラ大会(主催:(公社)自動車技術会)への寄付・運営スタッフ派遣、留学生への奨学金支援、北海道剣淵試験場での交流イベント(P19参照)や地域イベント(三次きんさい祭(P12参照))への参加、「美祢市認知症等高齢者徘徊・見守りSOSネットワーク」協定に基づく協力(マツダ(株)、マツダエース(株)との連名(P16参照))、福祉団体や三次市への寄贈(使用済み切手、不要カレンダー、社内で使わなくなった融雪剤、路面補修材、除草剤、草刈り用機材など)、ボランティア活動などを実施。

c パソコン寄贈



環境 環境保全に貢献する取り組み **安全** 交通安全に貢献する取り組み
人材 次世代を担う「人」を育成する取り組み **地域** 地域に根ざした取り組み
財団 マツダ財団を通じての活動

※1 (公社)中国海事広報協会
※2 交通整理などの運営スタッフ派遣や駐車場などの施設開放、景品の寄贈含む。
※3 広島市就労支援センターと連携し障がい者が作ったクッキー・小物を社内販売。
※4 交通安全週間に合わせた本社前での交通安全立哨、近隣の小中学校への交通安全に関する標語記載の掲示パネル設置。
※5 身近な緑地を保護する広島市「ふれあい樹林」制度を利用。

支援型自動販売機の設置 (マツダパーツ(株)) 環境 地域

目的: 支援型自動販売機の設置を通して社会貢献を行う。

取り組み: 自動車部品の提案型営業および供給サービスを行うマツダパーツでは、2016年から社内に支援型自動販売機を設置し、売り上げの一部を福祉団体などに寄付しています。

2016年度実績

原爆ドーム保存を目的とした自動販売機を本社(広島市)に、交通遺児支援を目的とした自動販売機を中日本のセンター(愛知県)に設置し、それぞれ広島市と(公財)交通遺児育英会に、売り上げの一部を寄付。(公財)交通遺児育英会からは感謝証^{※1}を受領しました。その他、全従業員が参加できるリサイクル品の収集を実施(使用済み切手・ペットボトルキャップ)。

d

d 支援型自動販売機の設置



障がい者への支援 (倉敷化工(株)) 環境 地域

目的: 障がい者一人ひとりの社会的自立を目指した取り組みを支援する。

取り組み/2016年度実績

自動車用ゴム部品、産業用防振・防音・緩衝機器の製造販売を行う倉敷化工では、障がい者の社会的な自立を理念として設立された重度障害者多数雇用事業所から、倉敷化工で使用する部品を積極的に購入しています。また、福祉団体などへの協賛を行うほか、会社周辺の清掃に参加。

e

e 障がい者の支援



地域への施設開放 (トヨタエイトック(株)) 人材 地域

目的: さまざまな機会を通じて、地域に貢献する。

取り組み/2016年度実績

工作機械や表面処理に加え、自動車部品の開発・製造を行っているトヨタエイトックは、さまざまな機会を通じて、社外からの要請に対応しています。2016年度は、近隣の少年野球団へ練習場や試合会場として、工場併設のグラウンドを提供。また、就業時間中の献血を実施(年4回、81名参加)。

国際交流フットサルリーグに協賛 ((株)日本クライメイトシステムズ) 人材 地域

目的: 地域に在住する外国人と地域社会の交流を促進する。

取り組み: 自動車部品製造販売を行う日本クライメイトシステムズ(JCS)は、国際交流の促進および多文化共生を目指した「東広島市国際交流フットサルリーグ」を設立当初から支援し、外国人従業員でチームを編成して参加しています。さらに、JCSが会長および事務局を務める「東広島マツダ会」^{※2}は、資金協力をはじめとする運営協賛を行っています。

2016年度実績

運営資金協力に加え、月1回のフットサルリーグ戦開催や年2回の交流イベントとして「東広島マツダ会杯」の企画・開催を通じて、国際交流を促進。その他、中学生対象の職場体験受け入れ、児童自立支援施設での在学者を対象とした講演会実施、東広島マツダ会を通しての福祉施設入所者との交流や地域のイベントへの運営協力、日本赤十字社などへの金銭寄付など、さまざまな活動を通じて地域に貢献。

f

f 国際交流フットサルリーグ



環境 環境保全に貢献する取り組み **安全** 交通安全に貢献する取り組み
人材 次世代を担う「人」を育成する取り組み **地域** 地域に根ざした取り組み
財団 マツダ財団を通じての活動

※1 あしながおじさん感謝証。
※2 東広島市内と近隣のマツダ協力企業34社でつくる団体。古本書籍の寄贈などの支援に対し広島県知事より感謝状を受領。

地域活性化の連携協定を継続締結(ヨシワ工業(株)) 環境 人材 地域

目的: 地域と会社の連携により相互の成長を目指す。

取り組み: 自動車部品製造販売を行うヨシワ工業は、工場のある島根県吉賀町と2007年6月に、「地域と企業の連携(一社一村しまね※1)」協定を締結し、地域振興を支援しています。

2016年度実績

「一社一村しまね」協定を継続し、吉賀町の地域産業への波及効果や、地域製品の顧客増、雇用の拡大に貢献。一方で、ヨシワ工業にとっては地域資源を活用したビジネスの展開、従業員への安心で安全な食材の提供、従業員と家族の福利厚生、安定した従業員採用などにつながり、両者にとって多くのメリットを享受。

その他、毎年開催される吉賀教育委員会主催「よしか・夢・花・マラソン」の支援、小中高生の工場見学受け入れ・鋳物教室開催、地域イベントなどに対する研修施設開放、就業時間中の献血実施。また、広島県の実田町公衆衛生推進協議会主催「空き缶等散乱ごみ追放キャンペーン」などをはじめとした市町村主催の地域環境美化活動を実施。 **g**

g よしか・夢・花・マラソン開催 (ヨシワ工業協賛)



AEDを地域のために供用((株)マツダプロセッシング中国) 環境 地域

目的: AED※2を設置し、地域の非常時に開放する。

取り組み: 納車点検・架装を行うマツダプロセッシング中国は、2008年にAEDを設置し公共用として使用できるよう消防署への登録を行っています。定期的にAEDの使用講習を実施し、地域の非常時に即時に協力できるよう備えています。

2016年度実績

AEDの設置を継続し、10月の社内防災訓練では、非常時に従業員がAEDを実際に活用できるよう、全従業員に対して使用講習を実施。 **h**

その他、献血、地域イベントへの協賛、車椅子寄贈のためのプラタブ収集、広島安芸商工会を通じてのペットボトルキャップ寄贈(2007年10月から継続実施、累計約16万個)、会社周辺清掃などを実施。

h 社内防災訓練でAEDの操作を確認



※1 島根県が推進する取り組みで、県内の地域(市町村)が特定の企業や団体と、対等なパートナーシップのもとに交流を促進し、経済的な効果を含めた地域振興を図ることを目的としています。
※2 AED(自動体外式除細動器): 血液を流す機能を突然失った心臓に電気ショックを与え、正常な動きに戻すための医療機器。